

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	だれもが生き活きと住み続けられるふるさとプロジェクト		実施期間	H27～H28	テーマ	その他	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>笠置町は、日帰り温泉施設の「いこいの館（サービスセンター併設）」、料理旅館等その他の宿泊施設、桜や紅葉、カヌー体験やキャンプ場で有名な木津川、修験道体験の笠置寺や巨岩信仰の拠点であった笠置山等、歴史、景観、自然、文化、スポーツ等の地域資源に恵まれているが、その魅力を活かしきれておらず、近年は近隣市町村でも日帰り温泉施設の建設や新たな観光施策の展開等により、笠置町への入込客数の減少が課題となっている。</p> <p>また、まちづくりや地域活性化の原動力となる若年層の流出や少子・高齢化により、本町の人口は平成27年3月末では昭和22年のピーク時に比べて半数以下となる1,501人に減少しており地域の農業や産業の担い手が不足するなど、雇用や観光交流など、地域活力が減退するなどの問題が顕在化している。</p> <p>これらの課題に対応するため、これまでも空き家対策事業、子育て支援事業や夏まつり等の観光イベント事業等を実施し、移住促進や交流人口の増加等を目指してきましたが、さらに国が推進している地方創生事業により、若者から高齢者まで多世代の住民が集い交流する場を造り上げ、新しい雇用の創出等を図るとともに、人々の生きがいが広がる、また地域の資源を活かし、新たな人材や産業の受入等まちの活性化をもたらす拠点や住民の暮らしを守る機能が集約した拠点を笠置駅周辺に集積し、魅力ある持続可能な地域の再生を行うことが必要です。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>美しい自然と、史跡に恵まれた笠置町の魅力を改めて見直し町内外に発信するとともに、駅周辺地域の小さな拠点づくりの促進、町内観光名所や拠点と各集落間を連絡する公共交通ネットワークの利便性の向上や住環境整備等により、子どもから高齢者までが、世代を越えて交流できる住み良いまちづくり施策を総合的に実施し、人口流出の抑制、町外からの移住を促進し魅力ある持続可能な地域の再編を目指します。</p>							
	総事業費（千円）	53,359	本年度事業費（千円）	18,460	交付金額（千円）	7,578		

プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績(出来高数値等)

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
	ボランティアコーディネーター設置事業	交付対象事業	住民に対してボランティアに関する情報提供等の実施 ・ボランティアコーディネーター設置補助(2,573千円)	福祉・ボランティアふれあいまつりの実施(来場者142人) ボランティア講座の実施(東部3町村社会福祉協議会合同(参加者48人中笠置町18人)) ボランティアだよりの発行(700部発行/月)
	地域福祉推進事業	"	見守り活動によりお届けする配食サービス、地域住民交流の場としてのふれあいサロン等の実施 ・地域福祉推進事業補助(233千円)	75歳以上のひとり暮らし、高齢者世帯の方への見守り活動も兼ねた配食サービス(利用者18人、延287食) 65歳以上の方を対象交流や閉じこもり予防を目的とした、いきいきふれあいサロンを開催(参加者延628人)
	母子手当支給事業	"	18歳までの子どもを養育母子世帯に1千円/月支給 ・母子手当(150千円)	12世帯26人に支給
	敬老会事業	"	敬老会事業補助及び傘寿、喜寿、90歳以上の老人に記念品を支給 ・敬老会記念品(220千円) ・地域老人生きがい対策(375千円)	9/15 敬老会の開催。招待者403人のうち参加者136人。 100歳(1人)、95歳(6人)、90歳(9人)、88歳(15人)、80歳(30人)、77歳(18人)の方に記念品の贈呈。
	緊急通報システム事業	"	1人暮らし、高齢者世帯で非課税世帯に対し、機器設置工事、電池交換1回/2年を助成 ・緊急通報システム点検等委託(9千円)	機器貸与は町全額負担、2年に1度の電池交換費用は非課税世帯のみ町全額負担。平成27年度は1件の電池交換。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

市町村 実施事業	福祉バス運行事業	〃	笠置駅と6集落を結ぶ、児童や高齢者の利用を中心としたバスの運行 ・ 運転手賃金（6,378千円） ・ 燃料費（1,416千円） ・ 福祉バス事業費（26千円）	運転免許を持たない子どもからお年寄りまで利用で乗車人員16,442人/年
	生ごみ処理機等購入補助	交付対象事業	家庭から排出される生ごみの減量と再資源化促進を図るため生ごみ処理機及びコンポスト購入費用の一部を補助。 ・ 生ごみ処理機等購入補助（3千円）	家庭生ごみ自動処理容器設置費補助1件
	予防接種事業	〃	予防接種法に基づく定期予防接種を実施する ・ 予防接種委託料（1,126千円） ・ 医薬材料費（961千円）	接種者数は、二種混合：4人、四種混合：12人、日本脳炎：28人、ヒブワクチン：12人、小児用肺炎球菌ワクチン：12人、水痘ワクチン：5人、麻しん・風しん（混合）：5人、BCG：2人、インフルエンザ：340人、成人用肺炎球菌ワクチン：54人
	地域福祉計画策定業務	〃	地域福祉に係るニーズを把握し、将来の目標増や個別施策を盛り込んだ「地域福祉計画」の策定を行う。 ・ 地域福祉計画策定業務委託（1,723千円）	27年度では、2町1村における地域福祉に関する意識調査を実施（笠置町：700世帯に配布）し、福祉サービス等に対するニーズや福祉意識、地域福祉活動への参加意向等の把握及び分析を実施した。
	観光イベント事業（駅前装飾委託）	〃	春・夏・秋の季節に駅前を造花で飾りつけ観光客を華やかに迎える ・ 駅前装飾委託（205千円）	JR笠置駅前から商店街にかけて、春はさくら、夏は青葉、秋にはもみじの飾りつけを実施。
	各種イベント報償等	〃	フォトコンテスト景品（15千円）並びにもみじまつり出演料（20千円）及びさくらまつり会場設営費（27千円）	応募者数：21名（男性：17名、女性：4名）58作品 もみじまつり さくらまつり来場者：延べ300人
	観光イベント（夏まつり事業）	〃	自然と緑あふれる当町の魅力をより多くの方々に知ってもらうため、夏まつり実行委員会が主催するイベントに補助する ・ 夏まつり助成（3,000千円）	8/1 夏まつり花火大会開催 花火：1,908発（協賛花火含む） 集客数：延べ12,000人
	鍋-1グランプリ事業	関連事業	来場者の投票により決定する「鍋-1グランプリ」を開催し、ご当地鍋の中からグランプリを決定する	ご当地鍋17団体、ご当地グルメ16団体、笠置町おもてなし団体（町内）10団体の出店。
	河川敷草刈り委託	〃	笠置キャンプ場のある河川敷の草刈りを委託する	笠置大橋左岸の草刈りの実施。
	笠置町農村移住促進事業	〃	笠置町への移住促進を推進するため、受入組織づくりや空き家改修等の事業に要する経費を支援	笠置町へ移住するための空き家改修事業への助成 2件
	空き家バンク	〃	町内の空き家の有効活用を図り、地域の少子高齢化の軽減及び過疎化の解消を促し、若年層の定住化や町内人口の増加、地域活動の維持、活性化に寄与する	27年度空き家登録8件
	駅無人化対策事業	〃	無人化となったJR笠置駅にJR職員OBの方を雇用配置し、児童や高齢者をはじめ観光客の対応を行う	乗車人員：23,911人/年
子育て支援事業	〃	3歳～15歳までの子どもにかかる医療費を自己負担額200円以外分の差額を助成	3歳から15歳までの児童等延べ545人に対し助成	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

	住民参加型ワークショップ事業	"	笠置町のまちづくりに関心のある方とともに笠置町のこれからについて考える	アイデアキャンプ H28. 1. 16~1. 17の2日間開催、延べ参加者42名 JR笠置駅及び周辺商店街の活性化につながる、拠点の活用アイデアを創出することができた。	
	集落支援員設置事業	"	集落支援員を配置し、集落の維持・活性化を図る	町の情報収集、集落支援員フェイスブックの作成・更新。 「かさぎだより」の発行を通じて	
	観光イベント事業（もみじ公園ライトアップ事業）	"	もみじの季節に町の環境を活かし、もみじ公園のライトアップを行う	笠置寺境内にあるもみじ公園のライトアップを行う（期間：11月中） 期間中の入込客数：5,975人	
成果指標①	成果指標の目標数値	笠置町の空き家への移住 H26：2組 → H28：5組（3年間）		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	H27：2組（累計4組） （平成28年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	成果指標の目標数値は達成できていないが、最終年度に向けて目標数値に近づいているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	ふれあいサロン参加者 H26：延べ668人→H28：延べ700人		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	H27：延628人 （平成28年3月31日時点）
	成果指標の達成状況	△	（左の理由）	毎月1回各地域の集会所に集まって実施しているが、気象条件等により参加者の増減があり、今年度は前年度より参加者が少なくなった。 最終年度に向けて、参加対象者への呼びかけ等実施し目標達成に向け努力する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標③	成果指標の目標数値	入込客数 H26：243千人 → H28：250千人		成果指標の実績値 （○年○月○日時点）	H27：251,124人 （平成27年12月31日時点）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	成果指標の最終年度ではないが、目標数値を達成しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	町内を循環する福祉バス運行事業等の交通ネットワークの維持に向けた取り組みは、交通分野の課題解決にとどまらず、町づくり・観光さらには、健康・福祉・教育及び環境等の様々な分野で大きな効果をもたらすものであり、子どもから高齢者までを対象とした各種の支援策を通じて、高齢者等に優しい町づくりを進めるとともに、JR笠置駅の無人化対策事業により観光笠置としてのイメージダウンの回避にもつながった。また、6回目を迎えた鍋フェスタなどは約10,000人の来場者があり、「さくらまつり」「もみじまつり」等とともに笠置町の魅力を発信する場となっています。 今後も様々な事業を通じて、笠置町の魅力を発信し入込客数の増加や移住者の増加に繋げていきます。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	農村移住促進事業では、移住する側への助成（空き家改修等）のみならず、移住先への助成（受入組織づくり）を支援することで、双方が安心して事業を実施することができると考えられる。平成27年度においては26年度に引き続き2組の移住者があり、問い合わせ件数も増えているので、引き続き契約に繋げていきたい。			
	府と市町村等との連携に資する成果	府と町の制度を併せることにより、医療助成体制や移住促進体制の強化が図られた。また、地域イベント助成事業の活用が図れた。			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

住民の自治意識を高める成果

各種イベントや活性化事業を通じて、住民自らが笠置の魅力を再発見し再確認することができたことにより、住民の自治意識が高まった。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

プロジェクト名	笠置町安心・安全まちづくり事業		実施期間	平成26年度～平成28年度		テーマ	安心・安全		新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	近年、全国的に多発している自然災害に対して、積極的に対策を立てる必要があります。当町においては、町面積の約80%を森林が占めている上、山間地という特質上、土砂災害警戒区域内に合わせる形で集落が形成されており、自然災害に見舞われることは町全体の危機に直面することとなります。また、町を横断する様に流れる木津川も平成25年度に冠水し、平成26年度は冠水間近という状況となるなど、住民は常に災害と隣り合わせの生活を送っています。 災害はいつ起こってもおかしくはないものであるため、常日頃から各方面で防災面の強化を図ることや、消防団など災害時に活動する機関への支援も求められています。									
プロジェクトの目的及び概要	平成26年度に改訂した地域防災計画により、現状に即した計画での防災体制の構築やAED等機器の設置により住民並びに観光客等の安心・安全を守るとともに、間伐により表土流失防止を促したり、地域や人を守る機関の支援を図ることで、より一層の災害に強いまちづくりを目指します。									
	総事業費（千円）	28,091	本年度事業費（千円）	7,659	交付金額（千円）	3,422				
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)										
事業分類	事業名	事業種別	事業概要				主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	笠置町防災行政無線事業	交付対象事業	防災行政無線の戸別受信機購入並びに保守点検を実施。 ・戸別受信機購入費（778千円） ・防災無線保守管理委託（1,410千円）				防災行政無線戸別受信機20台を購入			
	間伐推進事業	"	町内全域の森林における間伐事業を実施。 ・間伐推進事業補助（1,400千円）				5.58haの民有林の間伐作業を実施			
	AED整備事業	"	公共施設に設置しているAEDがいつでも対応できるよう維持管理を行う。 ・AED用品購入費（165千円）				笠置会館、保育所及び役場のAED3台のバッテリーを更新			
	防災用品整備事業	"	災害時に必要な防災用品を購入し、災害発生時に備える。 ・防災用品購入費（82千円）				アクアブロック20枚入り2箱 粉ミルク300g缶12缶入り2箱の購入			
	休日応急診療所設置事業	"	日曜日や祝祭日などの休日に比較的軽症な方を対象とした応急的な診療をする初期救急を目的とした診療所を開設する。構成市町村として負担金が発生します。 ・広域事務組合分担金（休日応急診療所分1,505千円）				相楽会館内に休日応急診療所を設置 受診者807人/年のうち笠置町受診者2人			
住民 協働 事業	町づくり事業補助金	"	各地区の安全対策等に係る経費を補助 ・まちづくり事業補助（1,234千円）				南部区：水路清掃(汚泥処理)事業等、切山区：防犯灯LED化事業等、西部区：集会所LED改修事業、東部区：防犯灯移設新設事業等、北部区：消防団第4部詰所前改修事業			
	消防団用資機材等購入事業	"	消防団旗の更新や消防用資機材等の購入事業 ・消防用資機材購入（259千円） ・消防団旗更新（826千円）				団旗1本、消防用ホース5本、消火栓ホース5本の購入			
	消防団防火啓発活動事業	関連事業	消防団の町内全戸訪問による火災予防啓発活動の実施				11/8 防災訓練後に消防団が町内全世帯を廻り火災警報器設置啓発チラシ等配布			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

	交通安全啓発活動	"	街頭啓発等の実施	5/11春の全国交通安全運動街頭啓発の実施、4/13、9/7の子ども交通事故防止推進日における小学校・保育所での啓発活動の実施の他にのぼり旗の掲揚やホームページでの啓発の実施。	
	防犯啓発活動	関連事業	青色回転灯搭載車による町内巡回の実施	青色回転灯搭載車で町内巡回パトロールをすることで、防犯対策の強化が図られた。	
成果指標①	成果指標の目標数値	災害による死亡者数 H25：0人 → H28：0人		成果指標の実績値 (〇年〇月〇日時点)	H27：0人 (平成28年3月31日)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の最終年度ではないが、目標数値を達成しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	町内建物火災件数 H25：0件 → H28：0件		成果指標の実績値 (〇年〇月〇日時点)	H27：0件 (平成28年3月31日)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の最終年度ではないが、目標数値を達成しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	防災備蓄品数量（人口に対する充足率） H25：30% → H28：40% (町民×40%×3日分×3ℓ)		成果指標の実績値 (〇年〇月〇日時点)	充足率：36% (平成28年3月31日)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の目標数値は達成できていないが、最終年度に向けて目標数値に近づいているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	町づくり事業補助金申請件数 H25：5件 → H28：8件		成果指標の実績値 (〇年〇月〇日時点)	H27：15件 (平成28年3月31日)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	成果指標の最終年度ではないが、目標数値を達成しているため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	A E D 整備事業や防災行政無線戸別受信機購入事業等を通して緊急時等の体制整備を図ることができ、また、休日応急診療所設置事業では、日曜日や祝祭日などの休日に比較的軽症な方を対象とした応急的な診療をする初期（一次）救急の整備を図ることができた。併せて、住民協働事業で実施した消防団防火啓発活動事業、防犯啓発活動並びに交通安全啓発活動事業を通じて、住民の安全意識の向上を図ることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名： 笠置町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	消防団啓発活動では、消防団員が町内全世帯を廻り火災予防を呼びかけるチラシを配布することによって火災予防に対する住民意識の向上を図ることができた。また、交通安全啓発活動では、交通安全対策協議会とともに街頭啓発活動（JR笠置駅前、主要国道沿い）や啓発のぼり旗の掲出の実施、防災行政無線での啓発等により安心・安全な町づくり事業に寄与している。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	住民協働事業で実施した町づくり補助事業を通じて住民自治意識の向上が図れた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	相楽休日応急診療所は、相楽郡広域事務組合（相楽郡1市4町村）において共同設置しました。財政状況の厳しい当町において単独では対応の難しい事業ですが、広域事務組合で取り組むことで経費負担の削減に繋がるとともに、住民の安心安全を確保することができた。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。